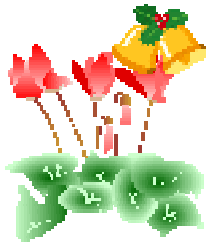


架け橋



発行 上都賀教育事務所ふれあい学習課

鹿沼市今宮町 1664-1

TEL:0289(62)7167 FAX(62)0148

Email:kamitsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

第9号(平成29年12月)

今年度の社会教育主事講習は茨城大学及び国立教育政策研究所にて開講され、上都賀地区からは6名の先生が受講されました。講習をふりかえり、感じたことや思っていることなどについて投稿いただきましたので、ご紹介します。

『生涯学習の一端を担えるように…』

佐藤 敬 (鹿沼市立北押原小学校)

社会教育主事講習を受けさせていただき、今まで自分がいかに無知であったか、ということを感じいたしました。社会教育・生涯学習の振興のためにどれほど多くの方々の時間と労力がかけられていたのか、想像も及びませんでした。学校も多くのボランティアの方に支えられていることを改めて感じました。

「サンマを企画・設計・創造せよ」宇都宮大学の佐々木先生のお言葉です。時「間」、空「間」、仲「間」の3間。多くの示唆に富むお言葉です。今日の前にいる子どもたちが、生涯学び地域に根ざして支え合いながら生きる、明るい未来のビジョンをもてるように、自分のいる学校教育の場からも「サンマづくり」に精一杯努めていきたいと思えます。



『講習をとおして学んだこと』

駒田 友昭 (日光市立今市小学校)

社会教育主事講習を終え、ほっと一息。つく暇もなく、現実世界に引き戻され、慌ただしい毎日を送っています。ただ、今までと少し違うところは、今取り組んでいることに対し、少し広い視野で物事を捉えられるようになったところでしょうか。

この講習を通して、「社会教育」「地域連携」「学校ボランティア」等々、今まで漠然としていたものが、一つの線につながったように思います。また「社会教育主事」についても、その役割と今後期待される使命について理解を深めることができました。今まで出会った人、これから出会う人、たくさんの人とのつながりを大切にしながら、地域社会の一員として、地域に貢献していきたいと思えます。



『境界を越えて学ぶ』

佐藤 圭介 (日光市立大桑小学校)

『境界を越えて学ぶ』という言葉が印象に残りました。現代社会は、めまぐるしく変化しており、生涯を通して学び、幅広い教養に触れることは重要であると感じます。しかし、私自身はというと、学校現場の中で、やりがいを感じながらも、一方で、価値観が固定化し、視野も狭くなっているのではないかと感じることもありました。だからこそ、学校中心としてだけでなく、地域社会にも目を向けて、つまり、境界を越えて物事を考え、学ぶことが重要であると感じました。

講習で学んだことを生かし、視野を広げながら、地域づくりの視点から学校教育を見つめ直し、地域と学校の連携について自分の立場でできることを模索していきたいと思えます。



『社会教育主事講習で学んだこと』

田邊 徹 (日光市立日光小学校)

約1か月間の社会教育主事講習を受講させていただき、たくさんのことを学ぶことができました。講習では、いろいろな視点からの講話があり、社会教育の幅広さや可能性を学ぶことができました。

ケニアに住む84歳の小学生の話では、いくつになっても学びたいという思いを持ち、周囲の人々の理解と支えがありそれを実現させたことに感動しました。また、地域での取組の事例も教えていただき、課題を乗り越えながらもいろいろな人々との交流や協力によって前進していく話に、講師の方の熱い思いを感じることができました。いろいろな人との関わりを大切に、講習で学んだことを学校で生かしていきたいです。



『講習をとおして学んだこと』

武田 総（県立日光明峰高等学校）

なんととっても最も印象に残っているのは、社会教育を推し進め、地域との連携活動を展開している講師の先生方の熱意でした。熱意にはそれを支える目的意識があって、そしてその目的を達成するための具体的な活動の展望を各先生方がそれぞれに抱いておられました。しかもそれらの事業に対して先生方は実に楽しそうに取り組んでおられました。

社会教育は人々をより幸せにする仕組みとその仕掛け作りだということなので、研修で学んだことを活かして、今後も地域連携教員として役割を果たしていきたいと思います。



『学校と地域の連携・協働に向けて』

荒井 一将（県立今市特別支援学校）

今回社会教育主事講習を受け、学校として地域と連携・協働していくためのヒントを多くいただきました。特に「学校の視点だけで地域との連携を考えていては地域の人たちは動いてはくれない。」というお話が印象に残っています。これまでの学校中心の視点を変えていかなければいけないと感じ、講習を通してその思いが強くなっていったと講習を振り返り感じています。

今回の講習で学んだことを生かしながら学校と地域をどのようにつなげていくことができるのか、地域の人たちの目線になって学校に協力してもらうだけでなく、学校が地域にどのような部分で貢献することができるのかを考え実践していきたいと思っています。



上都賀地区ふれあい学習ネットワーク

今年度のふれあい学習ネットワークを下記の通り実施します。詳しくは各校への実施要綱等をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

実施日時 平成30年2月2日（金） 13:30~16:35

場 所 菊沢コミュニティセンター

（鹿沼市御成橋町 2-2197 TEL0289-62-7619）

参加者 教職員（地域連携教員、社会教育主事有資格教員等）
行政職員（社会教育関係職員、福祉関係職員等）、地域コーディネーター、
学校支援ボランティア、家庭教育関係者、地域活動実践者、
NPO法人関係者、その他関心のある方

内 容 (1) 【各出展団体の活動紹介・PR・説明・交流】

『Shall we “協働”？』～みんなでコラボしませんか～

上都賀地区内で学校と連携、協働するためのプログラムや意欲をもった行政機関や民間団体が集い、ブース出展形式での説明や交流を通して、参加者同士の交流や情報交換の場とするとともに、子どもの活動に係る様々な人々の学びや交流の機会とします。

(2) 【参加者の交流・まとめ】

進行：宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 石井 大一郎 氏

参加者同士の交流を通じたネットワークづくりの場として、また、会のまとめを、石井准教授の進行により実施します。